

平成25年行政事業レビューシート (文部科学省)

事業名	先端融合領域イノベーション創出拠点形成プログラム		担当部局庁	科学技術・学術政策局			作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成24年度・平成30年度		担当課室	産業連携・地域支援課			産業連携・地域支援課長 木村 直人	
会計区分	一般会計		政策・施策名	科学技術・学術政策の総合的な推進 Ⅶ-2 イノベーション創出に向けた産業連携の推進及び地域科学技術の振興				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	○科学技術戦略推進費に関する基本方針(平成23年5月13日総合科学技術会議) ○第4期科学技術基本計画(平成23年8月19日閣議決定)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	長期的な観点からイノベーションの創出のために特に重要と考えられる先端的な融合領域において、産学の協働により、次世代を担う研究者・技術者の育成を図りつつ、将来的な実用化を見据えた基礎的段階からの研究開発を行う拠点を形成する。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	本プログラムは、イノベーションの創出のために特に重要と考えられる先端的な融合領域において、企業(協働機関)とのマッチングにより、新産業の創出等の大きな社会・経済的インパクトのある成果(イノベーション)を創出する研究開発を行う拠点を形成を支援するものである。実施期間は原則10年であるが、当初の3年間は拠点の本格化に向けた絞り込みのための期間として位置づけられており、3年目(2年半後及び3年半後)に再審査を行い、1/3程度に絞り込みを行うこととなっている。(年間5~10億円の定額補助。協働企業から間接経費を除く経費の総額と同等以上のコミットメント求めている)							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求		
		当初予算	-	-	7,390	6,637	6,637	
		補正予算	-	-	-	-	-	
		繰越し等	-	-	-	-	-	
	計	-	-	7,592	6,637	6,637		
	執行額	-	-	7,691 ※1				
執行率(%)	-	-	101.3					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値(25年度)	
	中間評価及び事後評価において、a以上の評価を受けた地域の割合(評価はs、a、b、cの4段階) ※中間評価は平成24年度、事後評価は平成28年度以降に外部評価委員等によって実施予定		成果実績			4/4	半数以上	
			達成度	%			200	
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値(25年度)	
	中間評価及び事後評価において、s以上の評価を受けた地域の有無(評価はs、a、b、cの4段階) ※中間評価は平成24年度、事後評価は平成28年度以降に外部評価委員等によって実施予定		成果実績			有	有	
			達成度	%			-	
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値(25年度)	
	協働企業からのコミットメント額		成果実績	百万円				
			達成度	%				
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込	
	先端融合領域イノベーション創出拠点形成プログラム実施拠点数		活動実績 (当初見込み)	拠点			12	-
					()	()	()	()
単位当たりコスト	1拠点当たりのコスト 620百万円/拠点数		算出根拠	単位当たりコスト=平成24年度補助金額7,436百万円/平成24年度先端融合領域イノベーション創出拠点形成プログラム実施拠点数12地域				

平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由
	職員旅費	1百万円	1百万円	「新しい日本のための優先課題推進枠」929百万円
	委員等旅費	1百万円	1百万円	
	産学官連携支援事業委託費	129百万円	120百万円	
	地域産学官連携科学技術振興事業費補助	6,505百万円	6,514百万円	
計	6,637百万円	6,637百万円	※百万円未満四捨五入の関係で一致しない	

事業所管部局による点検

	項目	評価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。	○	大学等が産学官連携活動を持続的に自立して実施できる体制を構築するための事業であり、今後のイノベーション創出のためにも優先度が高い。全国の大学等のうち、優れた取り組みを支援するものであり、国が実施すべき事業である。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○		
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。	○		
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	支出先は公募により審査の上選定。事業の実施状況や費目・用途等について確認を行い配分額の見直し等に反映させている。また、年間支払計画に基づき適正に事業が実施されており、資金の流れは中間段階でも合理的である。	
	受益者との負担関係は妥当であるか。	○		
	単位当たりコストの水準は妥当か。	○		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	○		
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○		
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-			
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	○	本事業の実施により、各実施機関における共同研究等において実績が上がるなど、産学官連携活動が活性化してきており、実効性が高い。成果の達成に向けては、中間評価や活動実績調査、目標に基づく業務進捗状況調査等を実施し、事業の進捗状況の評価・確認等を適正に行った。	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○		
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-		
	事業番号	類似事業名		所管府省・部局名
点検結果	<p>平成23年度で開始後3年目の再審査による絞り込みが一通り終了し、産学共同で社会的インパクトのあるイノベーションを創出する拠点が出揃った。平成24年度は、開始後7年目の4課題について中間評価を行い、協働機関(企業)の本事業に対するコミットメントの度合い、出口(事業化)に向けた進捗と成果創出を中心に評価するなど、大きな成果を生み出すような事業管理を行っている。</p> <p>平成25年度は5課題の中間評価を行う予定であり、引き続き事業終了後の成果創出を最大化するような視点で各拠点を誘導していくこととする。</p>			

外部有識者の所見

外部有識者による点検対象外

行政事業レビュー推進チームの所見

事業内容の改善

1. 事業評価の観点:この事業は、イノベーションの創出のために特に重要と考えられる先端的な融合領域について、産学の協働により、次世代を担う研究者・技術者の育成を図りつつ、将来的な実用化を見据えた基礎的段階からの研究開発を行う拠点を形成事業であり、予算執行状況及び契約・執行手続きの観点から検証を行った。
2. 所見:当該事業は、概ね計画通りに予算執行されたものと考えられるが、更なる事業の効率化を目指し、支援の重点化を図るなど、引き続き改善に努めるべきである。

所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

執行等改善

平成25年度に、平成19年度採択の5拠点が中間評価を迎えるが、評価が低い地域は、研究テーマを絞り込むなど一定の効率化減を図る。加えて、高評価取得拠点及び評価非対象拠点についても、活動費の見直しなどにより一定の効率化減を図る。

備考

※1 重点的支援の観点から、年度内に同一補助金内から流用増して執行。

○事業仕分け第3弾(平成21年11月18日)

事業番号3-20 競争的資金(先端研究)【予算】【制度】①科学技術振興調整費(革新的技術推進費、先端融合領域イノベーション創出拠点の形成)②科学研究費補助金(特別推進研究、特定領域研究、新学術領域研究、基盤研究(S))③戦略的創造研究推進事業④戦略的イノベーション創出推進事業⑤先端的低炭素化技術開発⑥戦略的基礎科学研究強化プログラム

WGの評価結果:一元化も含めシンプル化、予算は整理して縮減

【制度】(資金の一元化8名、重複の排除・制度のシンプル化4名、その他1名)

【予算】(予算計上見送り3名、予算要求の縮減5名(a 半額1名、b1/3縮減1名、その他3名))、予算要求通り5人

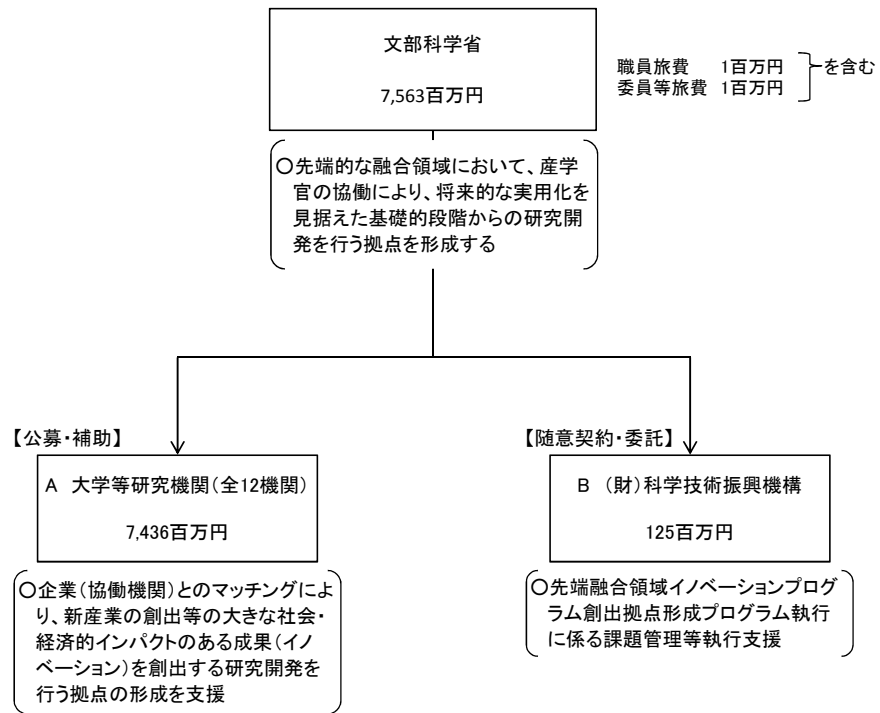
とりまとめコメント

競争的資金(先端研究)の予算については、来年度の予算計上の見送りが3名、予算要求の縮減が5名、予算要求通りが5名であった。ただし、予算要求通りとしたメンバーも、若手研究者への資金配分にも力を入れてほしい、コスト削減が必要とのコメントを付しており、全体としては予算要求の縮減の声が大きいと思われる。このため、競争的資金については整理して縮減することが求められているという形でまとめた。また、競争的資金(先端研究)の制度については、資金の一元化の推進が8名、重複の排除・制度のシンプル化が4名であった。このため、一元化を含め、制度をシンプル化し、使い勝手の良いものにしていただきたい。

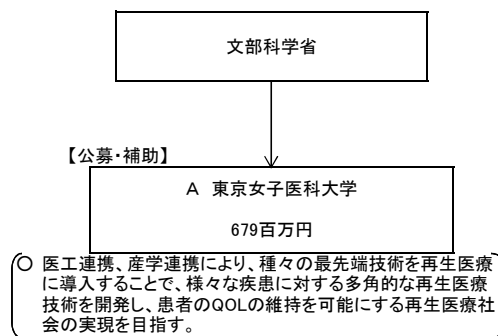
関連する過去のレビューシートの事業番号

	平成22年	22-0224	平成23年	23-0186	平成24年	新24-0019
--	-------	---------	-------	---------	-------	----------

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているかについて
補足する)
(単位: 百万円)



(再生医療本格化のための最先端技術融合拠点のケース)



費目・用途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と用途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.東京女子医科大学		
費目	使 途	金 額 (百万円)
人件費	業務担当職員、補助者	180
消耗品費	研究に係る消耗品等	171
環境改善費	研究支援のための人件費等	145
雑役務費	CPC施設維持管理等	84
設備備品費	実験動物用3DマイクロX線CT等	53
旅費	国内旅費、外国旅費	31
運営費	CPC高熱水費等	11
その他	外国人等招へい旅費、諸謝金	4
計		679

B.(財)科学技術振興機構		
費目	使 途	金 額 (百万円)
人件費	業務担当職員、補助者	81
業務実施費	消耗品費、国内旅費、機器保守料金等	32
一般管理費	一般管理費	12
計		125

C.		
費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0

D.		
費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0

E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0

F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0

G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0

H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	東京女子医科大学	再生医療本格化のための最先端技術融合拠点	679	企画競争	—
2	京都大学	高次生体イメージング先端テックノハブ	677	企画競争	—
3	東京大学	ナノ量子情報エレクトロニクス連携研究拠点	673	企画競争	—
4	京都大学	次世代免疫制御を目指す創薬医学融合拠点	673	企画競争	—
5	北海道大学	未来創薬・医療イノベーション拠点形成	656	企画競争	—
6	産業技術総合研究所	光ネットワーク超低エネルギー化技術拠点	650	企画競争	—
7	東京大学	システム疾患生命科学による先端医療技術開発	615	企画競争	—
8	大阪大学	フォトニクス先端融合研究拠点	609	企画競争	—
9	横浜市立大学	翻訳後修飾プロテオミクス医療研究拠点の形成	609	企画競争	—
10	東北大学	マイクロシステム融合研究開発拠点	559	企画競争	—

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(財)科学技術振興機構	先端融合領域イノベーションプログラム創出拠点形成プログラム執行に係る課題管理等執行支援	125	随意契約	—